

# 第 2 学年英語科学習指導案

日 時：平成 19 年 10 月 17 日（水）

場 所：一関市立山目中学校 2 年 4 組教室

学 級：2 年 4 組（男子 19 人 女子 16 人 計 35 人）

授業者：教諭 遠山 秀樹

A L T Christopher Felton

## 1. 単元名

Unit 5 A Park or a Parking Area? ( NEW HORIZON English Course 2 東京書籍 )

## 2. 単元について

### ( 1 ) 教材について

本単元では、身近な「地域の問題」を取り扱っている。友人の由香の妹が怪我をした事件をきっかけに、「公園を維持するか」「駐輪場にするか」という議論に至るまでの経緯を FAX や新聞記事、投書から読み取る。また、ここでは新聞記事や投書を読み取るだけでなく、5 W 1 H の明確な記事を作成したり、生徒の関心のある問題や身近な問題を提示しながら「事実を伝える」「意見を述べる」という場面を設けることで英語による表現の幅を広げることが可能である。

言語材料としては、従属接続詞 if,that,when,because が扱われている。従属接続詞を用いることで、条件や理由、意見や考えなどをより具体的に説明したり、描写することができるようになる。自分の意見を述べたりすることは難しいことであるが、コミュニケーションを図る上で重要なことでもある。日本語による文法説明をできるだけなくし、分かりやすい英文を提示し、英語を使いながら用法を理解することに重点を置きたい。また、口頭練習を徹底的に行い、音声と語順とを結びつけ定着を図りたい。

### ( 2 ) 生徒について

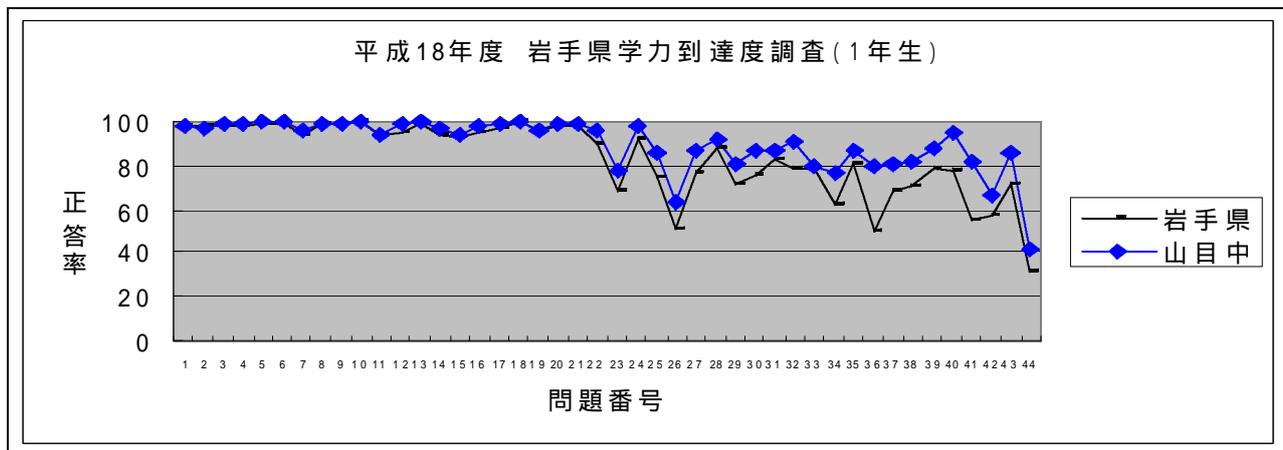
1 年生段階から「しっかり声を出して読む」「積極的に発言・発表をする」「ペアワークを大切にすること」に重点を置きながら指導にあたってきた。また、英語学習の基礎基本の一つとして基本文を暗唱し、正しく書くことができることを小テスト、単元テスト、定期テスト、休み中の課題として取り組んできた。加えて、なるべく多くの英文を覚えさせるために教科書の本文の暗唱にも取り組ませてきた。学年の約 5 分の 1 の生徒は 1 年生の教科書の暗唱を終えている。今年度も昨年に引き続いて教科書の暗唱をさせているところである。

授業では、なるべく文法的な説明は少なくして、言語活動の場面を設けている。本学級は学年内では学力差の大きい学級ではあるが、一斉読みではしっかり声を出して読もうとする姿勢がある。また、ペアワークの場面以外でもお互いに教え合おうとしている。

下に示したグラフは昨年度の岩手県学力到達度調査の結果である。本校は岩手県の結果よりも上回っているが、正答率の度合いは県全体の傾向に類似している。領域の中では「書くこと」の正答率が低く、近年その対策が求められてきたが、「読むこと」の正答率も決して高くはない。2 年生になり、教科書の構成が変わり 1 ページ当たりの語数も増えたことで、下位の生徒には一層苦手意識が強まった。特に Reading for Communication はその傾向が強い。

授業では Reading for Communication の目標として「本文全体の内容がだいたい分かること」と「ある程度のスピードで本文を音読できる」ことを求めているが、今後、少しずつ「読むこと」の力が高まればと思っているところである。

- 【観点】「聞くこと」 1～13  
「書くこと」 14～21, 30～38, 42～44  
「読むこと」 22～29, 39～41



### (3) 指導の構想

昨年度のプロジェクトチームでは、音声から「書くこと」への活動を意識的に仕組み、語順に的を絞った小テストや substitution drill を徹底して行い、基本文の定着を図った。今年度は「読むこと」(内容把握と音読)の指導に重点を置き、特に単元全体を通して音読を重視し、スピードリーディングにこだわって全てのパートで音読練習を徹底したい。音読は本文の形式によって個人で行ったり、ペアで行うが、いずれにしても目標タイムを設定したり暗唱して読むことに挑戦させたい。

内容把握に関しては、従来は個人で静かに読み取るという静的なイメージがあるが、'communication の観点から口頭での Q & A を取り入れ、可能な限り英語を英語で読み取らせたい。また、単元のまとめとして、「山中校舎の建て替えについて意見を述べる」というテーマを設定し、本単元で学習した接続詞を用いて、理由や条件、状況等を付け加えながら自分の意見をまとめさせて発表させたい。

### 3. 単元の目標

- (1) 従属接続詞 if, that, when, because の文の形や意味、用法を理解し、それらを用いて自分の考えや気持ちを表現することができる。
- (2) 本文の内容や従属接続詞を含んだ英文を読んで内容を理解することができる。
- (3) 相手の考えや気持ちを理解し、それに対する自分の考えや気持ちを伝えることができる。

### 4. 単元の指導と評価計画(9時間)

	時 間	ねらい 学習内容	評価規準			
			関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語・文化
S t a r t -	1	・ if 節の文の形や意味・用法を理解し表現できる。		if 節を用いた文を正しい語順で書くことができる。		if 節を用いた文の形や意味・用法を理解することができる。
	1	・ FAX の内容を理解	意欲的に音読練	正しい発音、イ	if 節を含んだ文	

ng Out		することができる。	習に取り組むことができる。	トネーションで本文を音読できる。	を聞いたり、読んだりして、その内容を理解することができる。	
D ialog	1	・ that 節の文の形や意味・用法を理解し、表現できる。		that 節を用いて、自分の考えを英語で書くことができる。		that 節を用いた文の形や意味・用法を理解することができる。
	1	・ 本文の対話の内容を理解することができる。	意欲的に音読練習に取り組むことができる。	本文の内容を把握し、役になりきって音読ができる。	本文の対話の内容を理解することができる。	
R eading for C omm uni c ation	1 ( 本 時 )	・ 新聞記事の内容を理解し、その問題について考えることができる。	新聞記事の内容について理解し、その問題について自分の考えを持つことができる。	本文を正しい発音、イントネーションで音読ができる。	新聞記事の内容について読み取り、理解することができる。	
	1	・ when 節の文の形や意味・用法を理解し、表現できる。		when 節を用いて、自分や友達の気持ちを説明する英文を書くことができる。		when 節を用いた文の形や意味・用法を理解することができる。
	1	・ 投書の内容を理解し、自分の考えを持つことができる。	投書の内容について理解し、自分の考えを持つことができる。		投書の内容について読み取り、理解することができる。	
	1	・ because 節の文の形や意味・用法を理解し、表現出来る。		because 節を用いて、自分の考えと理由を話すことができる。		because 節の文の形や意味・用法を理解することができる。
LP 5 ・ 単 元 の ま と め	1	・ 接続詞に気をつけながら、ニュースのポイントを聞き取ることができる。 ・ 接続詞節の形・意味・用法を理解し、表現できる。	「山中校舎の建て替えについて」の意見を述べることができる。	「山中校舎の建て替えについて」の意見を接続詞を用いて、つながりのある英文を書くことができる。	接続詞に気をつけながら、ニュースのポイントを聞き取ることができる。	

## 5. 本時の指導

### (1) ねらい

- ・ 新聞記事を読んで、内容を理解し、ある程度のスピードで音読できる。
- ・ 「山中校舎の建て替え」に関する記事を読み取ることができる。

(2) 具体の評価基準

評価規準	評価基準		援助
	十分満足できる(A)	概ね満足できる(B)	
新聞記事の内容について読み取り、理解することができる。 本文を音読できる。	新聞記事の内容について読み取り、理解することができる。 発展資料の内容について読み取ることができる。 本文を目標時間内に音読できる。	新聞記事の内容について読み取り、理解することができる。 本文を目標時間内に音読できる。	ペアワークの場面を与えて教え合わせる。 音読やQ & Aの場面でペアワークの場面を与える。 また、机間巡視をして音読指導をする。

(3) 本時の指導の構想

本時の目標を達成するために以下の点に留意して指導する。

授業の始めにいつもの通りQUIZを行い、前時の学習内容の定着を確認する。

本文の内容把握では、リーディングポイントを与えて全体の概要を把握させたい。また、新出単語の発音や本文の音読に時間をかけた指導を行いたい。

本文中には新出文型である従属接続詞"when"が含まれているが、この用法については疑問詞の"when"ではなく「～の時に」といういみであることを簡単におさえ、文法的な確認や言語活動は次時の学習とする。

「読むこと」の領域には、「ある程度のスピードで音読することができる」や「まとまった英文を読み取ることができる(大意をおさえる)」がある。そのような力をつけさせるために発展資料として"The Yamanome Times"なる新聞記事を配布し、生徒達にとってより身近な内容の英文を読み取らせる活動を行う。

(4) 展開

	学習内容	学習活動と評価		指導上の留意点(資料) (評価の観点= )
		J T E ( J )	A L T ( A )	
導入 8分	1. あいさつ	( J & A )		・上位の生徒には暗唱に挑戦させる。
	2. QUIZ	( J )	・ P.51 の小テスト (単語と基本文)	
	3. Warm Up	( J & A )	・ 前時の復習(P.51) (一斉読み ペア読み)	
	<b>【学習課題】</b> 新聞記事の内容を理解し、本文を音読できるようになる。			
	4. 内容把握 (1) 範読を聞く	( A )	・ A L T のモデルリーディングを聞く。	・ 学習シート  [読む-理解] 評価方法：挙手 支援：ペアワーク
	(2) 概要把握	( J )	・ 本文を読み、学習シートのリーディングポイントに答える。	
		( J )	・ 答え合わせをする。	

展 開	(3)本文の内容把握	( J & A )	・ J T E と A L T の説明を聞いて一文ずつ簡単に意味を確認する。	( P C ) ( F C ) ( 辞書 )
	(4)音読練習	( A )	・ A L T に続いて音読する。 ( 新出単語 本文 )	・ 読み切る時間的な目標を与える。 ・ ペアで読み方の教え合いをさせる。
	(5)True or False	( A )	・ T or F を行い、答え合わせをする。	・ 学習シート
	(6)Q & A	( J )	・ Q & A を行い、答え合わせをする。	・ 学習シート
	5 . 発展学習	( J )	・ "The Yamanome Times" を読む。 ・ 内容に関わって簡単な英問英答をする。	( TV ) ・ 資料 "The Yamanome Times"
41分		( A )	・ 山中の建て替えに賛成か反対かを答える。	
終末 1分	6 . 次時の予告	( J )	・ 宿題を確認する。 ( 音読 10 回 )	

( 5 ) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">学習課題</div> <p>New Words</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 150px; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50%; height: 30px;"></td><td style="width: 50%; height: 30px;"></td></tr> <tr><td style="height: 30px;"></td><td style="height: 30px;"></td></tr> </table>											<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">PC</div> <p style="text-align: center;">I am <b>against</b> the plan. 「 ~ に反対です 」</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">I am <b>for</b> the plan. 「 ~ に賛成です 」</p>